



日本航空株式会社
2015年3月期
決算説明会

2015年4月30日
代表取締役社長 植木義晴
取締役専務執行役員 齊藤典和



2015年3月期 業績概要

P.2



2015年3月期 配当金について

P.3



2016年3月期 業績予想について

P.4



2015年3月期 業績詳細 (2016年3月期 業績予想詳細含む)

P.6



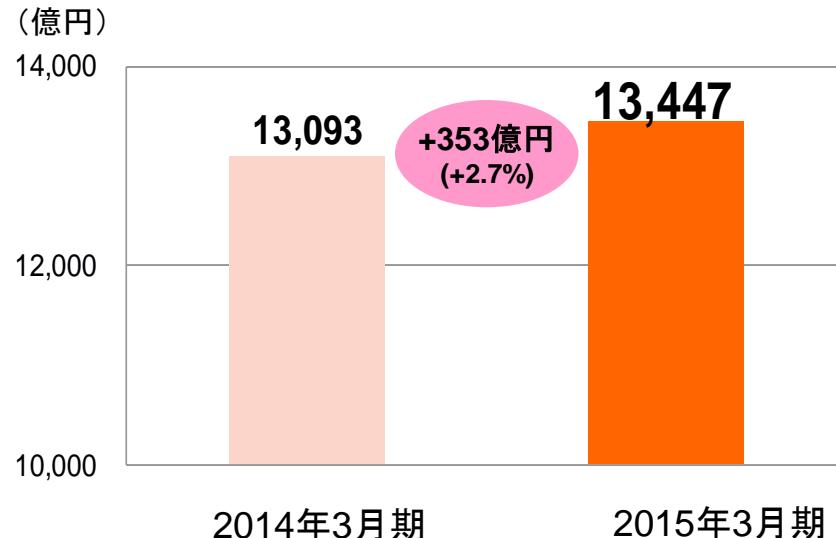
参考資料

2015年3月期 業績概要

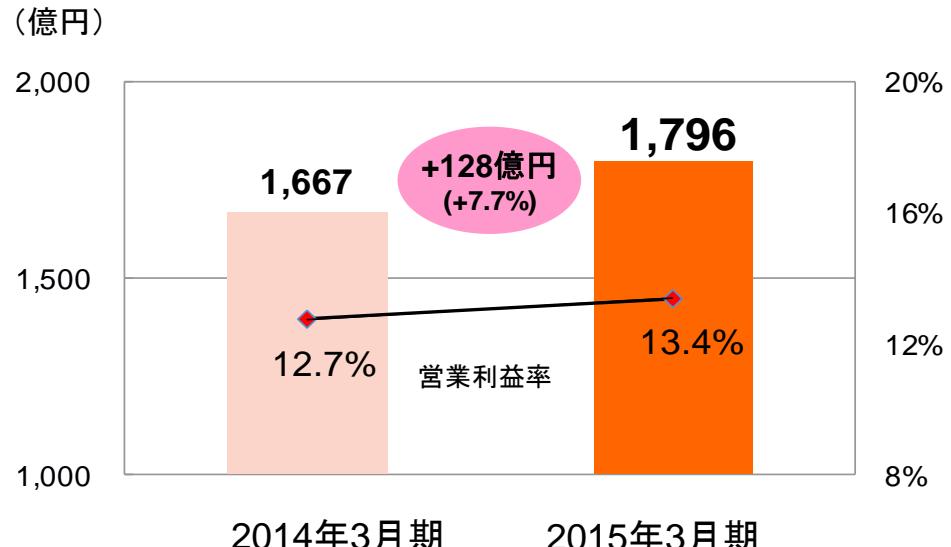


JAPAN AIRLINES

営業収益



営業利益



自己資本比率

	2014年 3月期末	2015年 3月期末	差 (前年度末対比)
自己資本比率	51.5%	52.7%	+1.2pt

- ✓ 営業利益は1,796億円、営業利益率は13.4%となり、目標とする営業利益率10%以上を達成
- ✓ 自己資本比率は52.7%となり、目標とする自己資本比率50%以上を維持

- 2015年3月期の営業収益は前年対比2.7%増加の1兆3,447億円、営業利益は前年対比7.7%増加の1,796億円となりました。
- 第3四半期業績及び中期経営計画の公表時点では、2015年3月期の営業利益見通しを1,670億円をお伝えしておりましたが、燃油市況の下落や增收・コスト削減を図ったことにより、見通し対比126億円の利益を積み増すことができました。
- 営業利益率は13.4%となり、本年度も引き続き財務目標である10%以上を達成いたしました。
- 自己資本比率は52.7%となり、本年度も引き続き目標である50%以上を維持しております。

2015年3月期 配当金



JAPAN AIRLINES

株主還元の充実

連結当期純利益から
法人税等調整額の
影響を除いた額の
20%程度

連結当期純利益から
法人税等調整額の
影響を除いた額の
25%程度

2015年3月期の1株当たり配当金

104円00銭

配当金計算

	2014年3月期 実績	2015年3月期 今回公表値	前回公表値 (2015/1/30)
連結当期純利益	1,662億円	1,490億円	1,390億円
法人税等調整額	▲214億円	+13億円	+20億円
	1,447億円	1,503億円	1,410億円
配当金総額	290億円	377億円	352億円
発行済株式総数	362,704千株 ^(*)	362,704千株	362,704千株
1株当たり配当金額	80.00円 ^(*)	104.00円	97.00円

(*)2014年10月1日付で株式分割を行っており
発行済株式総数と1株当たり配当金額は
当該株式分割が前連結会計年度の期首
に行われたと仮定して算出

- 株主還元の充実を図るべく配当金総額については2015年3月期より、連結当期純利益から法人税等調整額の影響を除いた額の20%程度から、同25%程度に拡充する方針を第3四半期説明会でご説明いたしました。
- これに基づき、2015年3月期の1株当たりの配当金は、104円を予定しております。

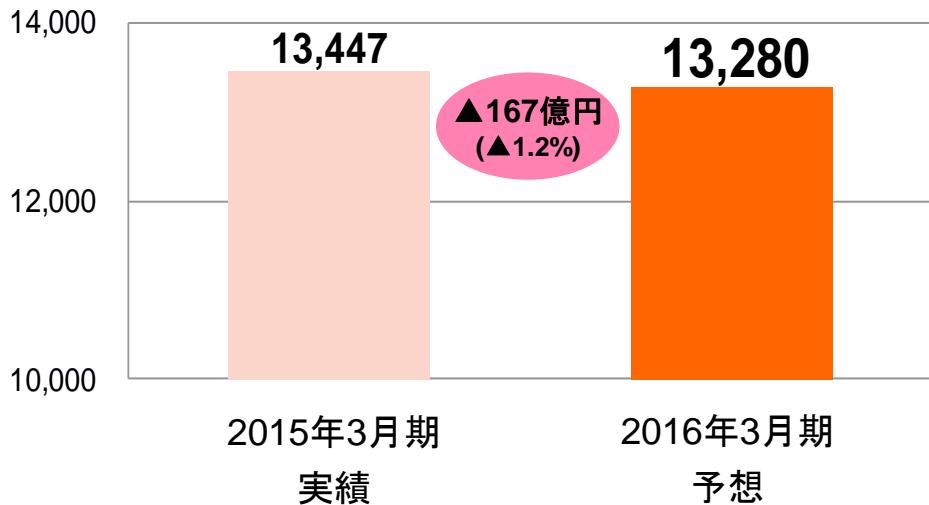


JAPAN AIRLINES

2016年3月期 業績予想

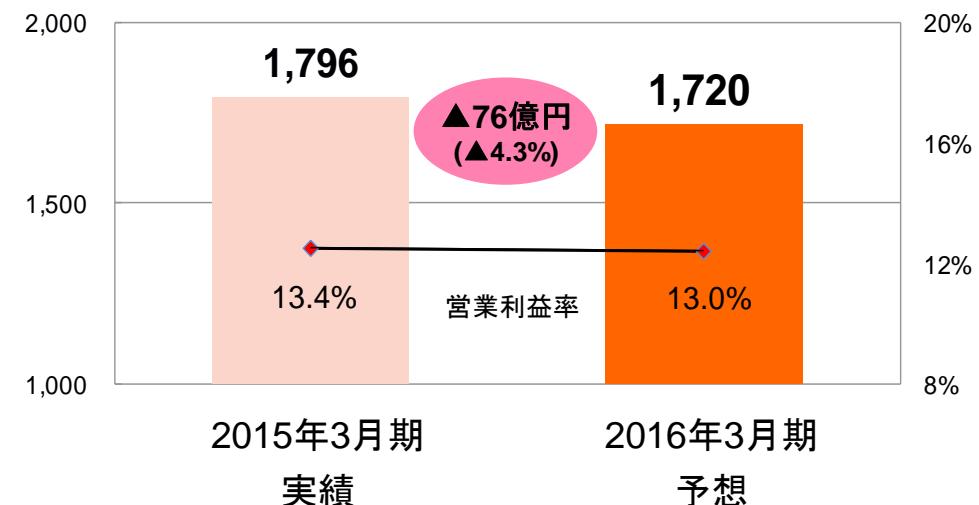
営業収益

(億円)



営業利益

(億円)



自己資本比率

	2015年 3月期末 実績	2016年 3月期末 予想	増減
自己資本比率	52.7%	56.5%	+3.8pt

	2015年 3月期 実績	2016年 3月期 予想
シンガポール ケロシン (USD/bbl)	103.5	80.0
ドバイ原油 (USD/bbl)	87.6	63.0
為替(円/USD)	108.4	118.0

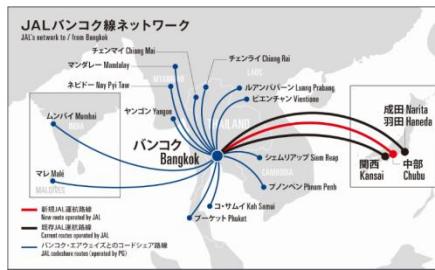
- 営業収益については、燃油サーチャージ収入の減少や、営業費用との両建取引の減少による減収を見込んでおります。営業利益については、円安影響等による減益を見込んでおりますが、增收増益の達成を目指して、全社をあげて努力を続けてまいります。
- 営業利益率は13.0%となり、2016年3月期も引き続き財務目標である10%以上を達成する予定です。
- また、自己資本比率におきましても、引き続き目標である50%以上の維持を目指してまいります。

中期経営計画の進捗



JAPAN AIRLINES

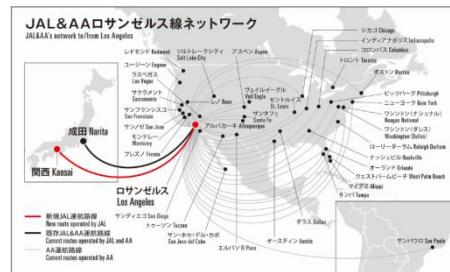
路線ネットワークの拡充



【開設】

中部＝バンコク線

関西＝ロサンゼルス線



商品・サービスの強化



ボーイング787-9型機、
「SKY SUITE 787」仕様でデビュー
～エコノミークラスは787型機で世界最大級の居住空間を提供します～



JAL SKY SUITE 777
Welcome! JAL New Sky



JAL SKY SUITE 767
Welcome! JAL New Sky



JAL SKY SUITE 787
Welcome! JAL New Sky

JAL SKY NEXT

Welcome! JAL New Sky



JALエクスプレス・タグサービス開始
✓ 羽田空港国内線
2015年3月31日～

Embrace new Challenge JAL

いつも心に、チャレンジを。



- 当社は、フルサービスを提供するネットワークキャリアとして、路線ネットワークの拡充を図ると共に、商品・サービスの強化を進めております。その一環として、2015年3月31日より、羽田空港国内線にて「JALエクスプレス・タグサービス」を開始いたしました。
- 部門別採算制度の展開・浸透により、引き続きコスト競争力の維持・向上に努めてまいります。
- また、「健康経営」や「女性活躍推進」にも積極的に取り組んでおります。



2015年3月期決算
業績詳細

取締役専務執行役員 齊藤典和

連結経営成績



JAPAN AIRLINES

2015年3月期 連結経営成績

(単位:億円)	前年同期	2015年3月期	前年同期比	第4四半期 ⁽¹⁾	前年同期比
営業収益	13,093	13,447	+2.7%	3,223	+0.9%
航空運送連結	11,666	11,962	+2.5%	2,862	+1.1%
営業費用	11,425	11,650	+2.0%	2,808	▲3.2%
航空運送連結	10,175	10,346	+1.7%	2,485	▲3.6%
営業利益	1,667	1,796	+7.7%	414	+41.5%
航空運送連結	1,491	1,615	+8.4%	376	+49.1%
営業利益率(%)	12.7%	13.4%	+0.6pt	12.9%	+3.7pt
経常利益	1,576	1,752	+11.2%	378	+43.1%
当期純利益	1,662	1,490	▲10.3%	293	▲31.3%
ASK(百万席キロ)	83,319	84,003	+0.8%	20,598	+2.7%
RPK(百万人キロ)	59,135	60,103	+1.6%	14,757	+1.9%
EBITDAマージン(%) ⁽²⁾	19.1%	19.8%	+0.7pt	19.4%	+3.7pt
EBITDARマージン(%) ⁽³⁾	21.5%	21.8%	+0.3pt	21.8%	+3.7pt
ユニットコスト(円) ⁽⁴⁾	8.8	8.9	+0.1	9.2	▲0.0
燃油費含む	12.2	12.3	+0.1	12.1	▲0.8

- ✓ 営業収益は13,447億円となり前年比+2.7%
- ✓ 営業利益は1,796億円となり前年比+7.7%
- ✓ 営業利益率は13.4%
- ✓ 当期純利益は1,490億円となり前年比▲10.3%
- ✓ ユニットコストは、8.9円となり前年比0.1円増加。

- 注: 1. 第4四半期(1-3月)の実績は2015年3月期実績(4-3月)から第3四半期累計実績(4-12月)の実績を差し引いて算出
 2. EBITDAマージン=EBITDA/営業収益 EBITDA=営業利益+減価償却費
 3. EBITDARマージン=EBITDAR/営業収益 EBITDAR=営業利益+減価償却費+航空機材賃借料
 4. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く)/ ASK

- 当期の営業収益は、国際線における旅客収入の増加を主な要因として、前年対比2.7%増加の1兆3,447億円となりました。営業費用は、為替の円安影響およびサービス強化のための費用増を主な要因として、前年対比2.0%増加の1兆1,650億円となりました。結果、当社の2015年3月期の営業利益は1,796億円となり、営業利益率は13.4%となりました。
- 当期純利益は、前年対比減益となりましたが、これは前年度の法人税等調整額214億円が当期純利益にプラスに作用したものの、今年度は13億円のマイナスに作用しているためです。
- 燃油費を除くユニットコストは8.9円となり、円安等を要因として前年対比で0.1円上昇ましたが、引き続きコスト管理を徹底してまいります。

営業利益増減の推移



JAPAN AIRLINES

2015年3月期

(単位: 億円)

+128億円
(+7.7%)

うち為替影響 ▲170億円

収入	102億円
費用	▲272億円
燃油費	▲181億円
燃油費以外	▲91億円

ASK前年同期比: +0.8%
RPK前年同期比: +1.6%



- 営業利益は前年対比で128億円増加となりましたが、内訳としては、収入が前年対比353億円増加、費用が224億円の増加となりました。
- 収入面では、国際旅客収入前年対比172億円増加が大きく寄与しております。一方、費用面では、円安の影響が大きくなっています。

国際旅客事業の状況

	前年 同期	2015年3月期	前年 同期比	第4四半期 ⁽¹⁾	前年 同期比
旅客収入 (億円)	4,375	4,548	+3.9%	1,088	+2.5%
ASK (百万席キロ)	46,235	47,696	+3.2%	11,750	+3.1%
RPK (百万人キロ)	35,390	36,109	+2.0%	9,006	+2.0%
有償旅客数 (千人)	7,723	7,793	+0.9%	1,985	+2.5%
座席利用率 (%)	76.5%	75.7%	▲0.8pt	76.7%	▲0.9pt
イールド ⁽²⁾ (円)	12.4	12.6	+1.9%	12.1	+0.5%
ユニットレベニュー ⁽³⁾ (円)	9.5	9.5	+0.8%	9.3	▲0.7%
単価 ⁽⁴⁾ (円)	56,657	58,362	+3.0%	54,833	▲0.1%

- ✓ 旅客収入は4,548億円となり前年比+3.9%の増収
- ✓ 単価が前年比+3.0%となり増収に寄与

注: 1. 第4四半期(1-3月)の実績は2015年3月期実績(4-3月)から第3四半期累計実績(4-12月)を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

- 国際線については、ASKは前年対比で3.2%増加、RPKは2.0%の増加となり、座席利用率は0.8ポイント低下して75.7%となりました。

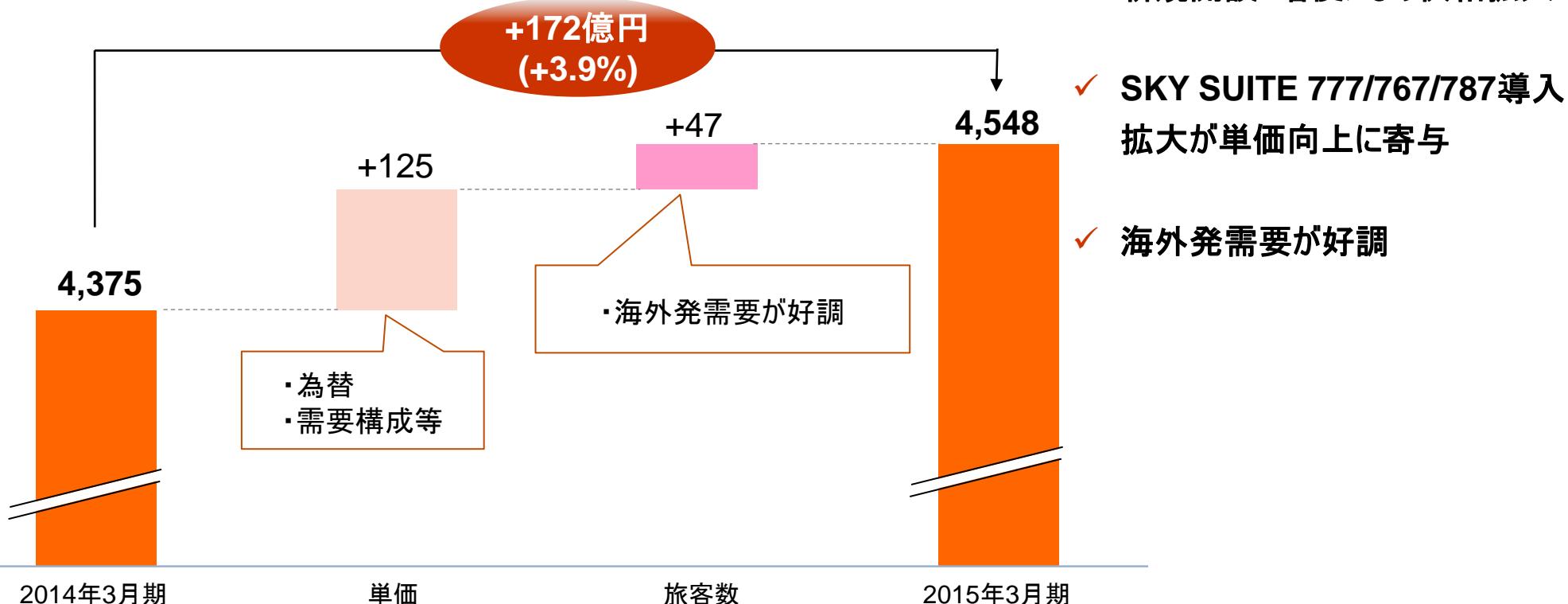
国際旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2015年3月期

(億円)



- 国際旅客収入の推移については、居住性・機能性を大きく進化させた「JAL SKY SUITE」の導入拡大や、円安による海外発運賃の上昇により、単価が向上いたしました。
- また、円安やビザ緩和の効果により海外発のお客さまが前年対比で約1割増加する等、海外発需要が好調に推移しました。
- 以上により、単価要因で前年対比125億円の増加、旅客数要因で47億円の増加となりました。

国内旅客事業(輸送実績)



JAPAN AIRLINES

国内旅客事業の状況

	前年 同期	2015年3月期	前年 同期比	第4四半期 ⁽¹⁾	前年 同期比
旅客収入 (億円)	4,874	4,875	+0.0%	1,145	+1.8%
ASK (百万席キロ)	37,084	36,306	▲2.1%	8,848	+2.1%
RPK (百万人キロ)	23,745	23,993	+1.0%	5,750	+1.8%
有償旅客数 (千人)	31,218	31,644	+1.4%	7,587	+2.9%
座席利用率 (%)	64.0%	66.1%	+2.1pt	65.0%	▲0.2pt
イールド ⁽²⁾ (円)	20.5	20.3	▲1.0%	19.9	+0.0%
ユニットレベニュー ⁽³⁾ (円)	13.1	13.4	+2.2%	12.9	▲0.2%
単価 ⁽⁴⁾ (円)	15,613	15,407	▲1.3%	15,092	▲1.0%

- ✓ 旅客収入は4,875億円となり前年並みを確保
- ✓ ASKを▲2.1%とした中、RPKが+1.0%となり、座席利用率は2.1pt上昇し66.1%
- ✓ 単価は団体旅客数の増加及び需要喚起型運賃の拡充等により前年比▲1.3%

- 注: 1. 第4四半期(1-3月)の実績は2015年3月期実績(4-3月)から第3四半期累計実績(4-12月)を差し引いて算出
 2. イールド=旅客収入/RPK
 3. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 4. 単価=旅客収入/有償旅客数

■国内線については、ASKは前年対比で2.1%減少したものの、RPKが1.0%の増加となり、この結果、座席利用率は2.1ポイント上昇して66.1%となりました。

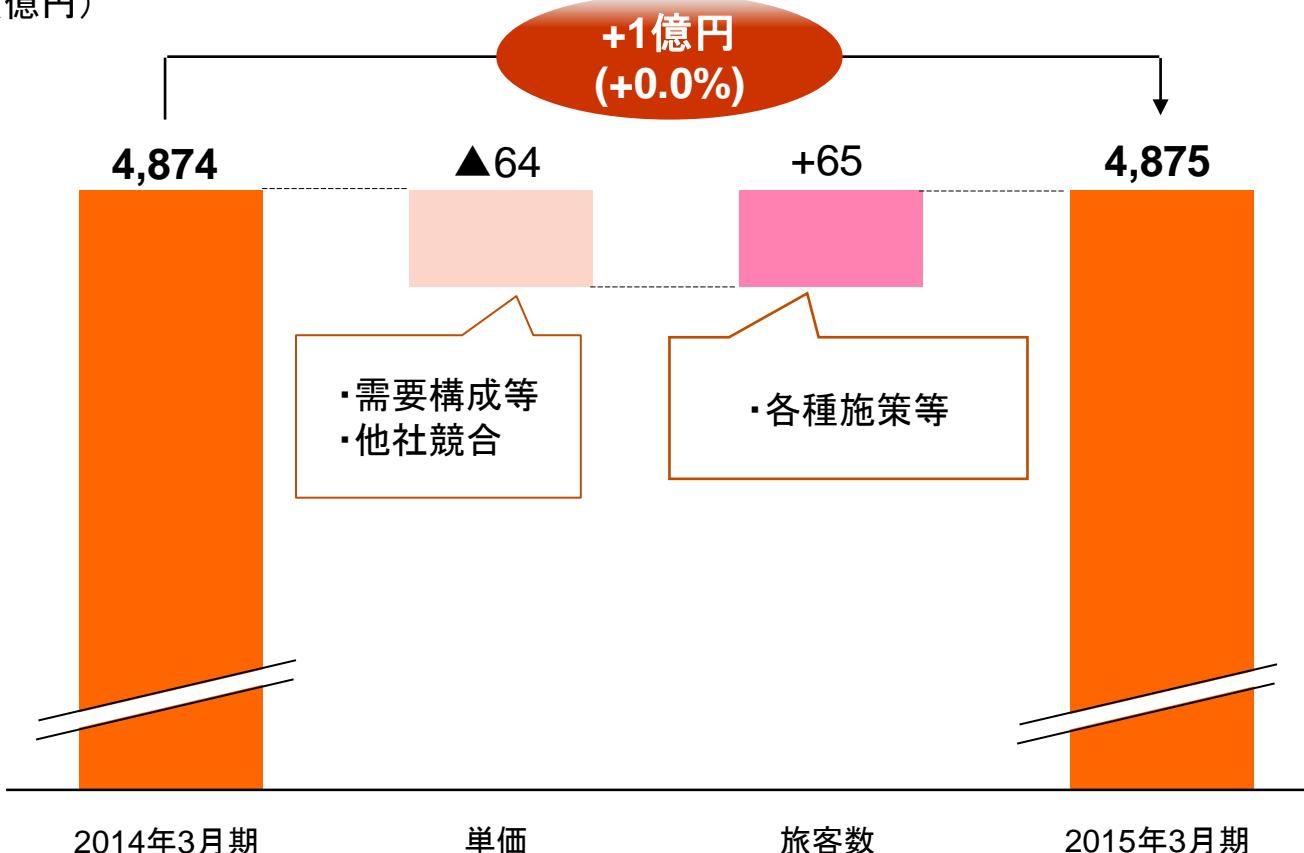
国内旅客事業(旅客収入の推移)



JAPAN AIRLINES

2015年3月期

(億円)



✓ 需要構成の変化

- ・「特便割引21」利用等の需要喚起型旅客の構成比増加

✓ 各種施策の実施

- ・需要喚起型旅客の増加
- ・JAL SKY NEXT導入
- ・観光商品(パッケージ商品)の予約受付期間を出発10日前までから7日前までへ延長
- ・訪日外国人旅行者の国内旅行推進施策など

- 国内旅客事業の旅客収入の推移については、「特便割引21」等の需要喚起型運賃をご利用されるお客さまの構成比増加により、単価が下落いたしました。
- 一方、ご好評いただいている「JAL SKY NEXT」の導入拡大や各種施策の実施により、旅客数は前年対比で1.4%増加いたしました。
- 以上により、単価要因で前年対比64億円減少するものの、旅客数要因で65億円増加となりました。

主要営業費用項目



JAPAN AIRLINES

営業費用内訳

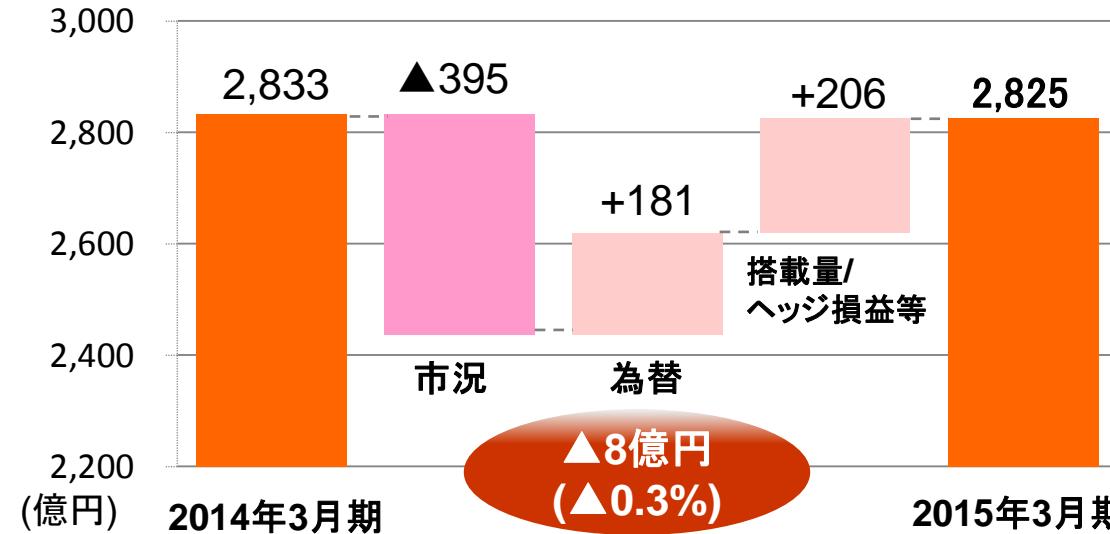
(単位:億円)	前年同期	2015年 3月期	前年差	前年 同期比	第4四半期 (1)	前年差	
燃油費	2,833	2,825	▲8	▲0.3%	594	▲115	✓ 燃油費は前年比8億円減少
運航施設利用費	802	816	+14	+1.8%	203	+9	✓ リース機材の減少等により航空機材賃借料が43億円減少
整備費	411	406	▲5	▲1.3%	97	+3	
航空販売手数料	225	243	+17	+7.7%	62	+6	
航空機材償却費	625	674	+49	+7.8%	171	+11	
航空機材賃借料	315	272	▲43	▲13.7%	76	▲1	
人件費	2,352	2,402	+49	+2.1%	612	+23	
旅行原価・商事 流通等 ⁽²⁾	987	1,066	+79	+8.1%	244	▲19	
その他	2,872	2,943	+71	+2.5%	745	▲10	
営業費用計	11,425	11,650	+224	+2.0%	2,808	▲92	

ASK前年比 : +0.8%

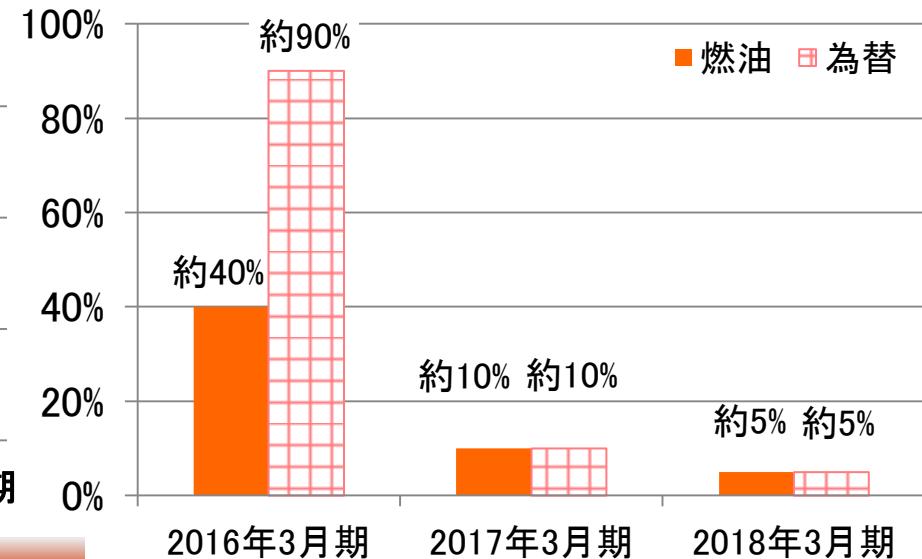
注: 1. 第4四半期(1-3月)の実績は2015年3月期実績(4-3月)から第3四半期累計実績(4-12月)の実績を差し引いて算出
 2. 関連会社に対する燃油転売を含む

- 燃油費については、昨今の燃油市況下落により、前年対比8億円減少いたしました。
- 航空機材賃借料は、昨年からの取組であるリース機材の減少等により前年対比43億円の減少となりました。
- 営業費用全体では1兆1,650億円となり、前年対比で224億円の増加となりました。

2015年3月期 燃油費増減の推移



燃油に対する年度別ヘッジ概況 (2015年3月末時点)



燃油・為替市況前提

	2014年3月期	2015年3月期	前年同期比	2016年3月期計画
為替 (円/USD)	99.9	108.4	+8.5%	118.0
シンガポールケロシン (USD/bbl)	121.5	103.5	▲14.8%	80.0
ドバイ原油 (USD/bbl)	104.7	87.6	▲16.3%	63.0

燃油費への感応度(ヘッジなし)

燃油費への影響 (2016年3月期)

原油 (1USD/bblの変動)	約26億円
為替 (1円/USDの変動)	約17億円

- 燃油費の減少の内訳としては、市況の下落で395億円減少となるものの、円安の影響で181億円増加、搭載量増加やヘッジ損益等で206億円増加となりました。

2015年3月期末 連結財務状況

(単位:億円)	前年度末 2014/3/31	当期末 2015/3/31	前年度末差
総資産	13,401	14,733	+1,331
現金及び預金	3,687	3,649	▲37
有利子負債残高 ⁽¹⁾	1,342	1,005	▲336
オフバランス 未経過リース料	1,455	1,250	▲204
自己資本	6,902	7,764	+861
自己資本比率(%)	51.5%	52.7%	+1.2pt
D/Eレシオ(倍) ⁽²⁾	0.2x	0.1x	▲0.1x
ROE(%) ⁽³⁾	26.5	20.3	▲6.2
ROA(%) ⁽⁴⁾	13.0	12.8	▲0.3

- ✓ 自己資本比率は当期純利益の計上等により1.2pt増加し52.7%

- 注: 1. 割賦未払金を含む
 2. D/Eレシオ=(オフバランス有利子負債)/(自己資本)
 3. (当期純利益)/(期首・期末自己資本平均)
 4. (営業利益)/(期首・期末総資産平均)

- 有利子負債は、長期借入金やリース債務の返済が進み、有利子負債残高は前年対比で336億円減少し、1,005億円となりました。
- さらにオフバランス未経過リース料も、前年対比で204億円減少し1,250億円となりました。
- 自己資本比率は前年対比で1.2ポイント増加し、52.7%となりました。

キャッシュフローの状況



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	前年同期	2015年3月期	前年同期差
税金等調整前当期純利益	1,600	1,699	+98
減価償却費	827	858	+31
その他	51	53	+1
営業キャッシュフロー合計	2,479	2,611	+131
設備投資額 ⁽¹⁾	▲1,645	▲1,986	▲340
その他	▲21	▲6	+15
投資キャッシュフロー合計 ⁽²⁾	▲1,667	▲1,992	▲325
フリー・キャッシュフロー ⁽³⁾	812	618	▲193
有利子負債返済 ⁽⁴⁾	▲459	▲511	▲51
配当金・その他	▲159	▲162	▲2
財務キャッシュフロー	▲619	▲673	▲54
キャッシュフロー合計 ⁽⁵⁾	193	▲54	▲247
EBITDA	2,495	2,655	+160
EBITDAR	2,810	2,927	+117

注: 1.固定資産の取得による支出

2.定期預金の入出金を除く

3.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー

4.長期借入金の返済+リース債務の返済

5.営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー

- 営業キャッシュフローの合計は、前年対比で131億円増加し、2,611億円となりました。
- また、投資キャッシュフローの合計は、新規航空機材の導入等により前年対比で325億円増加し、1,992億円のキャッシュアウトフローとなりました。結果、フリーキャッシュフローは前年対比で193億円減少し、618億円となりました。
- 財務キャッシュフローは有利子負債の返済等を進めた結果、673億円のキャッシュアウトフローとなり、キャッシュフローの合計は54億円のキャッシュアウトフローとなりました。

2016年3月期業績予想(連結業績)



JAPAN AIRLINES

(単位:億円)	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	差
営業収益	13,447	13,280	▲167
営業費用	11,650	11,560	▲90
営業利益	1,796	1,720	▲76
営業利益率	13.4%	13.0%	▲0.4pt
経常利益	1,752	1,690	▲62
当期純利益 ⁽¹⁾	1,490	1,440	▲50

	2015年 3月期 実績	2016年 3月期 予想
ASK* 国際線	+3.2%	+3.1%
国内線	▲2.1%	+0.7%
RPK* 国際線	+2.0%	+5.9%
国内線	+1.0%	+0.8%

*前年比

(単位:億円)	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	差
営業収益	4,548	4,450	▲98
	4,875	4,940	+64
国内旅客収入	983	970	▲13
貨物郵便収入	3,039	2,920	▲119
	2,825	2,650	▲175
営業費用	8,824	8,910	+85
燃油費	8.9	9.0	+0.1
ユニットコスト(円) ⁽²⁾			

シンガポール ケロシン (USD/bbl)	103.5	80.0
ドバイ原油 (USD/bbl)	87.6	63.0
為替(円/USD)	108.4	118.0

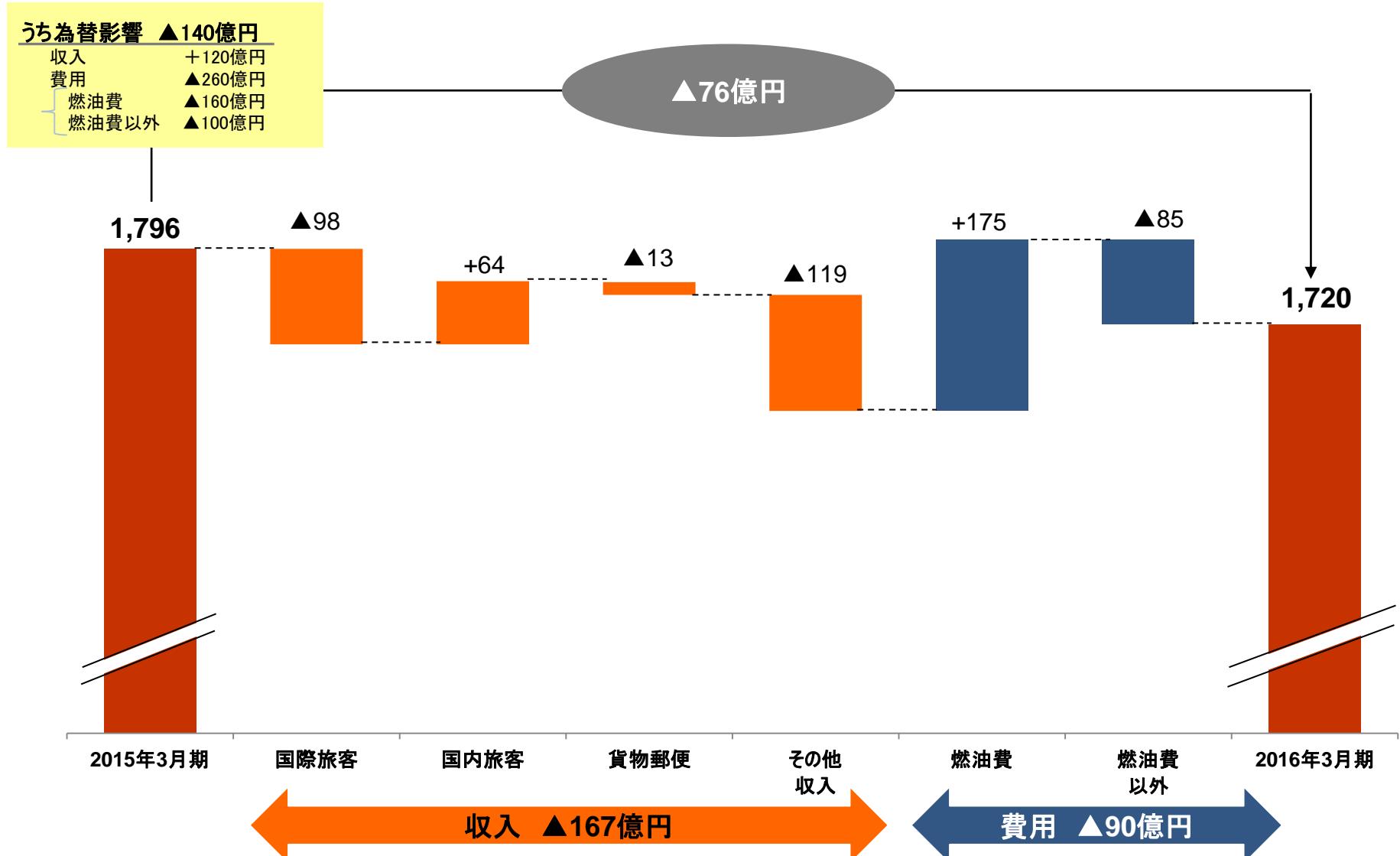
- 注:
 1. 2016年3月期の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益
 2. ユニットコスト=航空運送連結費用(燃油費、収入費用両建ての関連会社向け取引を除く) / ASK

- 2016年3月期の営業収益は167億円減少し、1兆3,280億円となる見込みです。
- 営業利益に関しては、76億円減少し1,720億円、経常利益は62億円減少し1,690億円となる見込みですが、增收増益の達成を目指して、全社を挙げて努力を続けてまいります。
- 当期純利益は50億円減少し、1,440億円となる見込みです。
- 市況の前提については、燃油はシンガポールケロシンが80ドル/バレル、為替は1ドル118円としております。

2016年3月期 営業利益予想の増減推移



JAPAN AIRLINES



- 2016年3月期の営業利益は、前年度実績対比76億円少ない1,720億円の計画となっておりますが、内訳としては、収入が燃油サーチャージ収入の下落、及び営業費用との両建取引の減少による減収を見込んでおり、前年度実績対比167億円の減少、費用が90億円の減少を見込んでおります。

2016年3月期業績予想(連結貸借対照表/キャッシュフロー)



JAPAN AIRLINES

自己資本比率50%以上を維持し、財務安定性の向上を目指す

連結貸借対照表

(億円)	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	増減
総資産	14,733	15,810	+1,076
有利子負債残高	1,005	860	▲145
自己資本	7,764	8,940	+1,175
自己資本比率(%)	52.7%	56.5%	+3.8pt
ROE ⁽¹⁾	20.3%	17.2%	▲3.1pt
ROA ⁽²⁾	12.8%	11.3%	▲1.5pt

連結キャッシュフロー

(億円)	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	増減
営業キャッシュフロー	2,611	2,610	▲1
投資キャッシュフロー ⁽³⁾	▲1,992	▲2,150	▲157
フリー・キャッシュフロー ⁽³⁾	618	460	▲158
財務キャッシュフロー	▲673	▲540	+133
EBITDA	2,655	2,620	▲35
EBITDAR	2,927	2,850	▲77

- 注： 1. (当期純利益)/(期首・期末自己資本平均) 2016年3月期の当期純利益は親会社株主に帰属する当期純利益を用いて計算
 2. (営業利益)/(期首・期末総資産平均)
 3. 定期預金の入出金を除く

- 自己資本は8,940億円を見込んでおり、その結果、自己資本比率は56.5%となり、引き続き財務目標である50%以上を見込んでおります。
- 営業利益1,720億円見通しにおける営業キャッシュフローは2,610億円、投資キャッシュフローは2,150億円、フリーキャッシュフローは460億円を見込んでおります。
- なお、資料の最後に、参考資料といたしまして2015年3月期の国際線収入大路別実績と保有航空機一覧、ならびに2016年3月期の国際・国内旅客事業別の業績予想を記載しておりますので、ご覧ください。

參考資料

《参考》2015年3月期 国際線収入大路別実績



JAPAN AIRLINES

旅客収入(対国際線全体比率)

(単位:%)	前年同期	当期	前年同期差	第4四半期	前年同期差
太平洋線	34.0%	35.5%	+1.5pt	33.5%	▲0.0pt
欧州線	18.5%	16.5%	▲2.0pt	13.5%	▲2.5pt
アジア・オセアニア	36.5%	36.5%	▲0.0pt	40.5%	+2.0pt
中国線	11.0%	11.5%	+0.5pt	12.5%	+0.5pt

ASK

(単位:百万席キロ)	前年同期	当期	前年同期比	第4四半期	前年同期比
太平洋線	17,099	18,219	+6.6%	4,535	+7.4%
欧州線	8,161	7,730	▲5.3%	1,774	▲8.5%
アジア・オセアニア	17,431	18,219	+4.5%	4,608	+5.7%
中国線	3,542	3,527	▲0.4%	831	▲4.7%

RPK

(単位:百万人キロ)	前年同期	当期	前年同期比	第4四半期	前年同期比
太平洋線	13,578	14,574	+7.3%	3,542	+3.4%
欧州線	6,389	5,819	▲8.9%	1,282	▲16.4%
アジア・オセアニア	13,230	13,371	+1.1%	3,576	+7.8%
中国線	2,192	2,344	+6.9%	605	+9.0%

有償旅客数

(単位:千人)	前年同期	当期	前年同期比	第4四半期	前年同期比
太平洋線	1,775	1,868	+5.2%	455	+0.5%
欧州線	691	635	▲8.1%	140	▲16.0%
アジア・オセアニア	4,083	4,033	▲1.2%	1,064	+4.5%
中国線	1,173	1,256	+7.1%	325	+9.1%

Load Factor

(単位:%)	前年同期	当期	前年同期差	第4四半期	前年同期差
太平洋線	79.4%	80.0%	+0.6pt	78.1%	▲3.0pt
欧州線	78.3%	75.3%	▲3.0pt	72.3%	▲6.8pt
アジア・オセアニア	75.9%	73.4%	▲2.5pt	77.6%	+1.5pt
中国線	61.9%	66.5%	+4.6pt	72.8%	+9.1pt

《参考》2015年3月期 保有航空機一覧



JAPAN AIRLINES

		前年度末 2014/3/31			当期末 2015/3/31			増減
		所有	リース	合計	所有	リース	合計	
大型機	Boeing 777-200	15	0	15	13	0	13	▲2
	Boeing 777-200ER	11	0	11	11	0	11	--
	Boeing 777-300	7	0	7	7	0	7	--
	Boeing 777-300ER	13	0	13	13	0	13	--
	大型機 小計	46	0	46	44	0	44	▲2
中型機	Boeing 787-8	15	0	15	20	0	20	+5
	Boeing 767-300	15	0	15	13	0	13	▲2
	Boeing 767-300ER	18	14	32	24	8	32	--
	中型機 小計	48	14	62	57	8	65	+3
小型機	Boeing 737-400	11	2	13	12	0	12	▲1
	Boeing 737-800	21	29	50	21	29	50	--
	小型機 小計	32	31	63	33	29	62	▲1
リージョナル機	Embraer 170	15	0	15	15	0	15	--
	Bombardier CRJ200	9	0	9	9	0	9	--
	Bombardier D8-400	9	2	11	9	2	11	--
	SAAB340B	10	1	11	13	0	13	+2
	Bombardier D8-300	1	0	1	1	0	1	--
	Bombardier D8-100	4	0	4	4	0	4	--
	リージョナル機 小計	48	3	51	51	2	53	+2
合計		174	48	222	185	39	224	+2

《参考》2016年3月期業績予想（航空運送事業・国際旅客）



JAPAN AIRLINES

国際旅客事業

	2015年3月期 実績	2016年 3月期予想	前年同期比 (%)	
			上期(予想)	下期(予想)
旅客収入(億円)	4,548	▲2.1%	▲2.5%	▲1.6%
ASK(百万席キロ)	47,696	+3.1%	+2.1%	+4.1%
RPK(百万人キロ)	36,109	+5.9%	+5.1%	+6.6%
有償旅客数(千人)	7,793	+2.5%	+2.0%	+3.0%
座席利用率(%)	75.7%	77.7%	78.0%	77.4%
イールド ⁽¹⁾ (円)	12.6	▲7.5%	▲7.3%	▲7.6%
ユニットレベニュー ⁽²⁾ (円)	9.5	▲5.0%	▲4.6%	▲5.5%
単価 ⁽³⁾ (円)	58,362	▲4.5%	▲4.4%	▲4.5%

- 注：1. イールド=旅客収入/RPK
 2. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 3. 単価=旅客収入/有償旅客数

《参考》2016年3月期業績予想（航空運送事業・国内旅客）



JAPAN AIRLINES

国内旅客事業

	2015年3月期 実績	2016年 3月期予想	前年同期比 (%)	
			上期(予想)	下期(予想)
旅客収入(億円)	4,875	+1.4%	+1.4%	+1.4%
ASK(百万席キロ)	36,306	+0.7%	▲0.6%	+2.1%
RPK(百万人キロ)	23,993	+0.8%	+0.3%	+1.3%
有償旅客数(千人)	31,644	▲0.1%	▲0.2%	▲0.1%
座席利用率(%)	66.1%	66.1%	66.2%	66.0%
イールド ⁽¹⁾ (円)	20.3	+0.7%	+1.1%	+0.2%
ユニットレベニュー ⁽²⁾ (円)	13.4	+0.7%	+2.0%	▲0.6%
単価 ⁽³⁾ (円)	15,407	+1.6%	+1.6%	+1.6%

- 注：1. イールド=旅客収入/RPK
 2. ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
 3. 単価=旅客収入/有償旅客数

明日の空へ、日本の翼



JAPAN AIRLINES

当資料に関するお問い合わせ先

日本航空株式会社

財務・経理本部 財務部

電話番号 03-5460-3068

本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社と併せて「当社グループ」といいます)に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではございません。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。